

令和3年

第4回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

日 時 令和3年3月10日（水）
開会 14時00分 閉会 14時52分

場 所 福岡県庁4階 教育委員会会議室

【議事等】

1 報告

- (1) 教育費予算に対する意見の申出について
- (2) 「令和2年度福岡県学力調査結果」について

2 協議

- (1) 県立学校長の人事について
- (2) 事務局等職員の人事について

【内 容】

1 出席者

教育長：城戸秀明

委 員：宮本美代子、前田恵理、木下比奈子、堤康博、久保竜二

2 欠席者

なし

3 出席職員

副教育長 木原茂、教育監 寺崎雅巳、教育総務部長 上田哲子、
教育振興部長 日高公德、総務企画課長 松永一雄、財務課長 後藤元
義務教育課長 塚田淳 外

4 傍聴者等数

なし

5 議事録

【城戸教育長】

ただ今から第4回教育委員会会議定例会を開催いたします。

本日の案件につきましてはお手許に配布している資料のとおりでございます。

審議に入ります前に、非公開発議の有無を確認します。本日の議題の中で、非公開で審議することが適当なものはないでしょうか。

< 堤委員が挙手 >

【堤委員】

協議（1）及び協議（2）は人事に関する案件ですので、非公開とする発議をいたします。

【城戸教育長】

ただいま、堤委員から非公開の発議がありましたので採決をとりたいと思います。非公開に賛成の方は挙手をお願いします。

< 全 員 が 挙 手 >

【城戸教育長】

全員賛成でございますので、協議（１）及び協議（２）につきましては非公開といたします。他にはございませんでしょうか。

< な し >

【城戸教育長】

ないようですので、以上で非公開の発議の確認を終わります。

よって、本日の会議は、公開にて報告（１）及び報告（２）を審議した後に、非公開にて協議（１）及び協議（２）を審議することといたします。

それでは、報告（１）「教育費予算に対する意見の申出について」を後藤財務課長お願いします。

○報告（１） 教育費予算に対する意見の申出について

【後藤財務課長】

教育費予算に対する意見の申出について御報告を行うとともに御承認をお願いするものでございます。資料を御覧ください。

< 後藤財務課長が資料に沿って説明 >

【後藤財務課長】

説明は以上です。御承認の程よろしくお願いします。

【城戸教育長】

それでは本案件について御意見や御質問をお願いいたします。

< な し >

【城戸教育長】

特にないようですので、本案件について承認といたします。

続きまして報告（２）「令和２年度福岡県学力調査結果」について」を塚田義務教

育課長お願いします。

○報告（２） 「令和２年度福岡県学力調査結果」について

【塚田義務教育課長】

例年は全国学力調査や本県の学力調査の結果分析を合わせて報告書を作成していましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全国調査が取り止めとなったため県の学力調査結果とコロナ渦での学びの保障に関する取組状況などをまとめた報告書として作成しております。資料を御覧ください。

＜塚田義務教育課長が資料に沿って説明＞

【塚田義務教育課長】

説明は以上でございます。

【城戸教育長】

それでは本案件について御意見や御質問をお願いいたします。

【堤委員】

調査対象の学年は、毎年小学５年生と中学１年生と決まっているのですか。

【塚田義務教育課長】

県の学力調査については、小学５年と中学１年、２年で実施しております。

【堤委員】

毎年同じ学年を調査した場合、調査結果を受けて取り組んだ内容の評価ができないと思うのですが、なぜこのような調査方法なのでしょう。

２点目は、調査結果が低下している原因を述べられましたが、条件は全国で同じではないのでしょうか。

【塚田義務教育課長】

県の学力調査が小学５年生と中学１年、２年で実施している理由は、全国学力学習状況調査が小学６年と中学３年で実施しておりますので、その間をとる形で実施しております。しかしながら、堤委員から御指摘があったとおり、同じような問題形式で各学年続けて実施した方がいいというのは、テストの分析の上では効果的なのですが、そこは予算の兼ね合いもございますので、今後検討してまいりたいと考えております。

２点目の期待正答率に対して下回っていることに対する全国的な状況についてです

が、今回分析しているのは、本県の児童生徒の状況でございまして、他県の状況は把握しておりません。報道等を見ますと、あまり結果が変わらない県もあれば本県同様基礎基本の定着に課題が見られたという県もあったようでございます。

【堤委員】

この結果は全国との比較ではなく期待正答率との比較ということですね。

【塚田義務教育課長】

期待正答率は過去の類似のテスト等での実績を基にしており、全国の平均的な傾向と似通っているものと考えられます。ただし、それはコロナの影響のない頃の実績を基に作成しておりますので、他県がわれわれと同じタイミングで調査を実施した場合にどのような結果になるのかは不透明です。

【宮本委員】

16ページに今後の方向性が記載されていますが、マネジメントの部分で管理職のリーダーシップによる学力向上というのは、実際にどこかの学校で効果がでたという事例はあるのでしょうか。

【塚田義務教育課長】

これまで全国・県の学力調査の結果を分析する中で、平均よりも高い数値を上げている学校や複数年で見た場合に高い伸び率を示している学校について要因の把握をするためにヒヤリングを行ったり視察を行ったりしております。その結果、学校長が学校の弱点が何なのか、どのように伸ばしていくのかというビジョンを持ち、それを学校全体で共有し各クラスの教員が授業で実践できている学校は成果が出ているといわれています。一方で共通認識がなく、それぞれがバラバラに努力している場合は学年が変わったときに、今までの指導との継続性が取れなかったなどの理由により伸び悩む結果が出ているという分析があります。

【宮本委員】

学習指導要領を多少逸脱しても構わないということでしょうか。

【塚田義務教育課長】

学習すべき内容自体は学習指導要領で定められておりますので学校ごとに変わるものではありません。ただ、教える内容は同じであっても教え方の工夫によってどれだけ定着ができるのか、活用・応用できるのかという点に関してはかなり差が開いてくるものだと思います。考え方の工夫や活用・応用の指導については学校長のマネジメントによ

り改善向上が重要であると感じております。

【城戸教育長】

他にございませんか。

< な し >

【城戸教育長】

特にないようですので、本案件については終了とさせていただきます。

<以降非公開審議となった>

○協議（１）県立学校長の人事について

県立学校長の人事について、協議を行った。

○協議（２）事務局等職員の人事について

事務局等職員の人事について、協議を行った。

（ 1 4 : 5 2 ）